

第3回高萩市「道の駅」整備検討委員会

日時 平成29年2月21日(火)

15:30~16:30

場所 A棟3階大会議室

【各委員の意見】

- ・温泉施設についての可能性も調査して欲しい。
⇒事務局：「掘る」「誘致する」の2パターンあると思う。色々な可能性があると思うが、詳細については基本計画で検討していく。
- ・集客性が大事だと思う。確かに海側の場合も魅力があると思うが、一方で市民の方の商業ニーズが重要である。道の駅ひたちおたと道の駅常陸大宮に関わった経験や、1月から3月は県北地域全域で特に観光客が減ることからも、市民利用も重視すべきである。
- ・商業施設については、新たな商業施設のニーズと書いてあるので微妙ではあるが、スーパーモール高萩があるから要らないという見方と、集積していたほうが良いという見方があると思う。道の駅だからあえてちょっと高くても良い物を買ってくる人もいるかもしれない。候補地④は、毎週土日に買い物に行くような距離感あるいは場所感として間違いないのか、地元のニーズを聞いてみたい。
- ・買い物など、よく利用するのは女性だと思うが、国道6号まで出るのは大変だと思う。運転が苦手な方も多いと思うので、国道6号の渋滞を嫌がる方もいると思う。高齢の方も同様である。
- ・販売している品物による。スーパーのような施設を造るのであればいいが、物産館のような施設であれば市民ニーズは低いと思われる。商業施設がどういうものになってくるのかで感覚が異なる。
⇒事務局：高萩市全体として、国道6号の東側の地区には商業施設が無いため、周辺住民の方の利便性というところでは必要性は感じている。一方で、国道6号の西側の地区の方が利用するかということは、公共交通の面も含め考えていく必要がある。
- ・道の駅ひたちおたのインタビュー調査をしていると、農産物がちょっと高いという声が出ていたりする。レストランのついでに買い物される方もいると思う。スーパーと同じように考えてはいけないのかと思うが、場所が決まれば置く品も決まる。
- ・情報発信機能の中で、もう少し文化・芸術・歴史を取り入れて欲しい。高萩には芸術家が多く、陶芸の日展で特選をとられている方もいますし、書でも代々大賞特選をとられています。それを見て育ってくる方々もたくさんいるので、行政としてのバックアップとして、体験機能のひとつとして付け加えて欲しい。
⇒事務局：情報発信機能に文化や歴史というキーワードは入っていないので、頂いたキーワードを取り入れつつ、観光情報の発信ということで項目を立てていきたい。
- ・高萩市は農作物というイメージがあまりない。それを前面に持ってきて良いものなのか。生産額で言うのは難しいのかもしれないが、県内で言うと何位くらいになるのか。
- ・高萩市は田んぼが主体のため難しいところだが、ご了解いただければ、農協のスケールメリットを活かして農産物の種類や加工品も確保できると思う。
- ・地元のものは地元優先で、広域的にはJAさんの方で、ということも考えられる。
- ・6次産業に凄く力を入れている道の駅があれば、県内のものが集まって、さらに味付けと製品開発というところに力を入れていければ、新しい高萩の産業を見出せば面白いかな

と思う。

- 地元農家の規模拡大などの活性化にもつながると思う。
- 道の駅に来たお客さんはまず地元のものを探す、そこが強くないとなれば、加工品の味での差別化だと思う。あとは工業都市としての背景がある高萩の基盤を活かしながらということもご検討いただきたい。
- 農産物については問題なく集められるということか。
- 規模を拡大して作付けをしていきたい。「ひたちおおた」では午前中で品物がなくなってしまうということもあるが、そういうことが無いようにしたい。できれば夕方まで地元の産品で在庫がもてばいいのだが。
- お土産は夕方などに購入することから、昼間作業して出荷すれば午後 2 時ごろに採れたての新鮮なものが届くと思う。
- シフト制を導入しているところもある。そういうところは凄く売れている。